

明治大学校友会

市川地域支部会報

# まっかぜ

**第12号**

**2016**

春(4月)

## 第11回市川地域支部総会 開催される!

発行：明治大学校友会  
千葉県西部支部市川地域支部  
〒272-0816 市川市本北方2-30-9  
発行人：佐川 清

平成27年5月17日(日)に昨年と同じ山崎製パン企業年金基金会館大ホールにおいて、第11回市川地域支部の総会並びに懇親会が開催されました。

当日は来賓として、千葉県西部支部行木支部長を始として各地域支部(浦安、松戸、我孫子、柏、流山)の支部長、そして講演をして頂く中村 浩様(明治大学硬式野球部OBで常任理事)のご出席を頂き、80名弱の参加者のもと会は開かれました。



総会は、第1部総会、第2部講演、第3部懇親会という次第で、伊与久副支部長の司会によりスタート致しました。

第1部の総会は、佐川支部長の昨年の10周年記念式典、そしてマンドリン演奏会について会員の皆様のご協力に対する謝礼の挨拶の後、議事の審議に入り第1号議案事業報告、第2号議案収支決算報告、監査報告、第3号議案事業計画(案)、第4号議案収支予算(案)が担当者より説明され、審議の結果全ての議案につき満場一致で可決承認され第1部総会は終了致しました。

引き続き、第2部の講演に入り中村 浩様より「明治大学野球部の伝統と誇り」というタイトルでご講演を頂きました。東京6大学野球の創成期からの様々なエピソードをユーモアを交えて楽しい、且つ又興味深い話を伺う事が出来ました。

第3部懇親会では、来賓の行木西部支部長のご祝辞を頂き、山田顧問の乾杯の音頭のもと懇親会はスタート致しました。



料理を堪能し、そしてアルコールも入り会も和み会員同士の談笑に華が咲き、親睦と交流が図られました。

アトラクションでは、山室幹事とその仲間によるマンドリンを中心としたミニコンサートが行われ、その演奏の最後では「丘を越えて、学生時代、ふるさと」の3曲を全員で歌い大いに盛り上がりました。

会の締めとして、阿部監査役、伊与久幹事の指揮で校歌を斉唱し来年の再開を約して閉会いたしました。

### 平成28年度第12回 明治大学校友会 市川地域支部総会開催について

[日時] 平成28年5月15日(日) 総会 11:00~ 懇親会 12:25~

[場所] 山崎製パン企業年金基金会館に於いて  
千葉県市川市市川1-3-14 TEL 047-321-3600 (JR市川駅北口 徒歩2分)

## 第51回 全国校友 滋賀大会

第51回全国校友滋賀大会は、「明治はひとつ びわ湖に集う紫紺の旗!」をスローガンに平成27年9月6日(日)大津プリンスホテルで開催され、全国から校友1,200名が参加、市川地域支部からは10名が参加しました。9月5日(土)は全国の校友会支部長、地域支部長、本部員の懇談会、「琵琶湖クルージング&湖上花火」の前夜祭が開催されました。

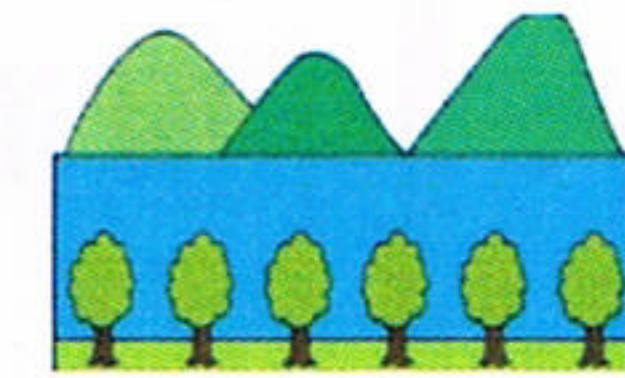
大会は明治大学応援団昭和39年度団長、山岡正勝氏(S4三日月0年法卒)の旗手による大会旗の入場でスタートし、井島滋賀県副支部長の開会宣言、岩田滋賀県支部長、向殿明治大学校友会長の挨拶、大学から日高理事長、福宮学長、来賓の三日月滋賀県知事、越大津市長、川本明治大学連合父母会会長より祝辞があり、最後に次回開催県の三保鳥取県支部長の挨拶、そして上田滋賀県副支部長の閉会の挨拶で記念式典の第1部を行ないました。

続く第2部では福宮学長の講演「明治大学の現況」や、地元で活躍する太田浩司長浜城歴史博物館長(昭和59年文学部日本史学専攻卒業後、大学院修了)の「日本の歴史を変革した信長・秀吉」と題した記念講演を興味深く拝聴しました。懇親会は会場の幅120メートル以上ある巨大なコンベンションホール淡海の大きさに驚きました。全員が着席し、近江牛、鮎寿司等湖国のおいしい料理を味わい、うまい地酒を飲みながらジャズ演奏をバックに語り、全国の校友が交流の輪を広げ、次回全国校友鳥取大会での再会を誓い、校歌大合唱で閉幕しました。





## “まつかぜ”に独り言



### “校友会との出会い”

時田 徹 (昭和56年 工学部卒)

2013年11月2日(土)大洲防災公園でいちかわ市民まつりがあり、娘の部活のダンス同好会がオープニングセレモニーでパフォーマンスを行いました。家が北国分なので、これまでは大洲防災公園まで足を運ぶことはありませんでした。

公園には多くの出店があり、この中に、明治大学ののぼりを見つけました。何をしているのだろうと覗いてみたら、人懐っこい笑顔が迎えてくれました。そこで、名前と連絡先を記入。翌年になって、5月の市川地域支部総会案内が届きました。

2014年に初めての総会参加。80名くらいの方が参加しているのに、驚き。そして、この時の隣の席には橋詰さん。しつこく、カラオケ同好会の勧誘を受け、先輩のお誘いは断れず、6月からカラオケ同好会に参加しました。もともと、あまり歌は得意ではない私でしたが、パワフルな先輩方と3か月に一度、楽しい時間を過ごしております。

### “子供が生まれたことを機に”

石川 隆英 (平成20年 法学部卒)

平成23年11月に第一子が生まれ、妻の実家が市川市下貝塚であること、都内へのアクセスが良い、文教区である、治安が良いことなどを考慮し、市川市に永住しようと決めました。

市川市に関して調べている折、偶然、市川地域支部ホームページを拝見し、是非その輪に入りたいと思い、支部長に参加の連絡をさせていただきました。

(出身は兵庫県姫路市になりますが、実家近くに流れていた川が”市川”という名称であったため、市川市にもご縁を感じております)

市民祭り、マンドリン演奏会、新年会等のイベントに参加させていただきましたが、大先輩とご一緒させていただき、これらの経験は、私にとってかけがえのない財産となっております。

先輩と後輩の紫紺の絆をつなげる役割を果たすことが、少しでもできれば光栄です。是非、この素敵な集いをさらに広めていきたいと思っております。皆さまこれからも何卒よろしく願いいたします。



## 第4回 親睦と交流の“暑気払い!”を開催

### ボウリング&生ビールで 極上の夏のひととき!

今年も「ボウリング&暑気払い」を、平成27年8月29日(土)に開催しました。もう秋かと感じられるような日が続いていましたが、元気一杯ボーリングを楽しみ、その後、市川地域支部の上田幹事が経営している

「上喜源」に場所を移しての飲み会では33名という多くの方の参加で大いに盛り上がりました。

ボウリング大会の優勝者は井上さん、第2位は中原さん、第3位は登坂さんでした。

なお、平成28年度も「ボウリング大会&暑気払い」の開催を計画しておりますので、開催日程が決まりましたら、会員の皆様にご案内致しますので、奮ってのご参加をお待ちしています。



## 第40回 《市川市民まつり》 参加レポート

平成27年11月7日(土)、いちかわ市民まつりが開催され、我が明治大学校友会市川地域支部もブースを設置して参加しました。昨年大成功のうちに実施しました明治大学マンドリン倶楽部のチャリティ・コンサートの報告や、明治大学グッズの販売などを行い、市川地域支部への新会員の加入募集を行いました。



昨年雨で早じまいとなってしまいましたが、今年は曇りがちではあったものの、多くの市民が参加されて賑わっていました。

昨年雨で早じまいとなってしまいましたが、今年は曇りがちではあったものの、多くの市民が参加されて賑わっていました。



## 恒例の“新年の集い”

例年の通り、明治大学校友会市川地域支部新年会が、平成28年2月7日（日）本八幡の「うえだ別館」にて開催されました。

今年は千葉県東部支部より支部長と副支部長合わせて3名のご参加も頂き、市川地域支部内会員同士の懇親だけでなく千葉県東西支部間の懇親も深める事になりました。

佐川支部長、行木千葉県西部支部長の挨拶に続き、千葉県東部支部の小関支部長よりご挨拶を頂いた後、山田



名誉顧問からのご挨拶を頂きました。今年の校友会全国大会が山田名誉顧問の出身地の鳥取で開催されることから、多くの会員が全国大会に参加してもらいたいとお話を伺いました。

しばらくの懇談のあと、各学部毎の記念撮影やカラオケ、くじ引きなどのアトラクションで楽しみ、最後はみんなで校歌斉唱して締め括りました。



## 紫紺の軌跡

### 『 大学紛争の中で 』



板橋 昇二郎（昭和48年 法学部卒）

昭和48年3月に明治大学法学部を卒業した板橋です。

私と明治大学との出会いは、53年前になりますが、付属の明治中学から進学したため高校・大学と通算して10年間通いました。この間、ことある毎に明治大学の校歌を歌い続けたことから歌詞は3番まで完全に覚えています。

大学時代の4年間は、大半が大学紛争の真最中であり、和泉校舎では全学連の学生が大教室に乱入し授業をボイコットさせるという暴挙がありました。

和泉校舎での思い出の一つは、レポート提出が多かったこと、とにかく休校が多かったため夏休みと併せて山陽・山陰、更に四国一周の旅に出て幕末の歴史や名所旧跡を観光したことが大学時代の思い出や財産となっています。

また、大学野球の決勝戦には、教授と相談し休校として応援に行きました。優勝の提灯行列に参加し喜びを分かち合いながら駿河台下の飲み屋で朝まだ飲んだことも懐かしい思い出となっております。

普段は新宿の「養老の滝」で飲み、終電にやっと間に合ったこともしばしばあったものです。飲むと法学部だけに自分の無くしたメガネが出て来た場合にどのように立証するのかなど語り合ったものです。また、一粒社の民法（通称ダットサン）を座右の書としたことや憲法記念日に日本武道館で我妻榮教授の講演を聴いて感動したものです。

3年になり駿河台に来てからは、研究室で司法試験の勉強したことや民法のゼミは毎回喫茶店で教授と共に身近な話題をテーマとして話し合ったものでした。

昼食にも思い出があり、安かった「いもや」の天麩羅定食や薄い豚肉と厚い衣にたっぷりソースを掛けたトンカツ、洗面器のような皿に盛られた「ジャンボ」の挽肉カレーも懐かしい味でした。

このように私にとって大学時代は、今では考えられない程の自由な時間があり、旅行とバイトをしたものです。徳島では明大連で阿波踊りを踊るなど校友との絆を強くできた時間でもありました。また明治大学の柔道部が仕切る中山競馬場のバイトは土日の勤務でもボーナスが出る素晴らしい仕事でした。

定年を向えた今、質実剛健の校風を受継ぐ市川地域支部の方々と諸活動を通じて絆を深めて行きたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



# 紫紺の軌跡

## 『 明治大学つながりで！ 』



青木 輝美 (平成6年 短大・法学部卒)

平成6年に明治大学短期大学の法律科に入学しました。明短は2年間授業がびっしりで、皆よく勉強していたと思います。私は刑法が好きで、鈴木享子先生のゼミに入りました。

1年の秋からは司法試験受験団体の一つである法科特別研究室（通称「特研」）に入ることができ、明治大学への編入試験と司法試験の勉強をしていました。明短の生徒はほぼ全員、明治大学への編入を目指します。私も特研の先輩と商法の松浦先生に講師をお願いし、憲法・民法・独語のサブゼミを組んでいました。編入試験の語学は、大多数の学生は英語受験なのですが、私は中学からずっと英語が苦手だったため、独語で受験することにしたのでした。

しかし、編入への道は険しく、当時は受験者数に対して合格者は1割程度でした。私も相当準備したつもりでしたが、結果として明治大学への編入試験に失敗してしまいました。残念でしたが、編入試験の合格発表があるのは年が明けた1月であるため、くよくよしている暇はなく、私も含め不合格となった9割の学生は、今後の身の振り方を大急ぎで考えなくてはなりません。就職活動に切り替える者、他大学の編入試験を受験する者など、皆必死でした。私は検討した結果、東洋大学法学部の通信教育過程に編入することにしました。短大生が大学に編入する場合、2年生に編入することになってしまう大学が多かったのですが、東洋大学は3年生に編入することができたことが主な理由でした。また、その年の12月には、特研の先輩の弁護士さんに推薦状を書いていただき、都内の法律事務所に事務員として就職しました。

たった2年間、あっという間の明治ライフでしたが、明治大学は私の人生に深い影響を与え、さまざまな経験をさせてくれました。特研の先輩には卒業後も大変お世話になりましたし、現在ホームcomingデーでは鈴木享子ゼミのOB・OG会が毎年開催されています。校友会市川支部では人生経験豊富な先輩方からかわいがっていただいておりますし、私が夫と知り合ったのは明治大学士業会です。

これからも明治つながりでたくさんの人と出会えることがとても楽しみです。

### 第13回 明治大学校友会 千葉県西部支部総会開催のお知らせ

〔日時〕 平成28年6月19日（日） 13:00～

総会 ・懇親会

（会場） 山崎製パン企業年金基金会館 に於いて

（ JR市川駅 徒歩2分 ）

※詳細は、各地域支部にお問い合わせ下さい。

### 第52回 明治大学 全国校友

## 鳥取大会

「来なんせ、鳥取！ 創立者 岸本辰雄先生のふるさとへ」

〔日程〕 平成28年11月12日（土）、13日（日）

《会場》 11月12日 前夜祭 ホテルモナーク鳥取

11月13日 大会 とりぎん文化会館

※詳細は、明治大学校友会事務局等へお問い合わせ下さい。



## 市川地域支部のホームページを見てね！



### 【 ホームページとブログの閲覧方法 】



Yahoo! (ヤフー)、Google (グーグル) 等のホーム・ページより 検索欄に

「明大 校友会 市川」・「明大 市川地域支部」などを入力し、検索をクリックする。

⇒ 表示された「明治大学校友会 市川地域支部」をクリックする。

⇒ 市川地域支部のホームページが表示され閲覧できます。

※パソコンでWEBブラウザのアドレスボックスより閲覧する場合

インターネット・エクスプローラーなどを起動したら、下記の市川地域支部のホームページ又は、  
ブログのアドレス (URLといいます) をWEBブラウザのアドレスボックスに入力します。

市川地域支部のホームページのURL 『 meiji4ichikawa.dip.jp 』

市川地域支部のブログのURL 『 shikon4ichikawa.dip.jp 』

※市川地域支部のホームページは、支部の明村幹事の尽力により作成・管理維持されています。



各同好会が、  
新規入会者を募集中です！  
皆様の参加を  
お待ちしております！



### カラオケ同好会の活動報告



平成27年度のカラオケ同好会は、年間4回の例会を開催しました。

例年通りくじ引きで紅白に分かれ得意の歌で点数を競う対抗戦を行い、結果は次の通りです。

- ・第36回は参加者14名、11点の大差で白組完勝。
- ・第37回は参加者14名、2点差で白組勝利。
- ・第38回は参加者12名と少なく、3点差で白組勝利。
- ・第39回は参加者15名、特別参加者1名で忘年会を兼ねた例会で紅白対抗戦でなく、皆さん好きな歌を思う存分歌う形で今年の歌い納めで大いに盛り上がりました。年間優秀賞は及川慶治さん (連覇) 2位阿部さん、3位小菅さん となりました。

平成28年度の例会予定日は3月6日、6月5日、9月4日、12月4日の各日曜日の開催予定です。現在の会員は21名。健康の一助にもなります。歌が好きな皆様の入会を待ちます。



カラオケ同好会の例会に於いて





## ゴルフ同好会の活動報告



27年度 明大市川地域支部ゴルフ同好会活動報告

1. 第32回コンペ (平成27年6月5日)

千葉新日本ゴルフ倶楽部11名参加

優勝 月舘光治

準優勝 佐川清

三位 石川守也

ベストグロ 高橋一郎 (90)

2. 第33回コンペ (平成27年9月11日)

成田東カントリークラブ 12名参加

優勝 齋藤信義

準優勝 中原忠良

三位 板橋昇二郎

ベストグロ 高橋一郎 (92)

3. 第34回コンペ (平成27年12月10日)

山田ゴルフ倶楽部 13名参加

優勝 齋藤信義

準優勝 大原登志

三位 佐川清

昨年までの登録メンバーは25人でしたが、年齢を重ねるごとに一人二人とリタイアをする人が増え現在23名です。また日程調整が上手くゆかず3回の開催となってしまいました。参加者は36名でした。



第34回コンペ 山田ゴルフ倶楽部にて

今後期待することは、会員各位が日頃の健康管理に努め、運動機能を維持し楽しいアウトドア生活を送れるような身体づくりに挑戦してもらう事、そして元気な姿を見せて貰う事です。

28年度の計画

※ 年4回開催 (4・7・10・1月) 予定。

※ 会員増強を図ります。



## ハイキング同好会の活動報告



### ～ 第2回 明治大学 生田・和泉キャンパス・ツアー！

権利自由とは生き残るために変化を恐れない気概、その学生時代よ再び。

2015年9月26日、明大校友会市川地域支部の第2回キャンパス・ツアーは、生田キャンパスと和泉キャンパスを訪問。12名の参加者はJR市川駅集合後、新宿経由で小田急線向ヶ丘遊園駅から小田急バスで生田キャンパス着11時。高層の校舎と緑豊かなキャンパスは都心に近い高台に位置する絶好の環境。農学部では、食の安全と最新のバイオテクノロジーとのバランスを追求する研究実績が積み重ねられていました。理工学部の第二校舎には機械系と応用化学系の実験室があり、そこでは世界のトップ企業との共同研究がいくつも行われていました。植村直己の記念碑に手を合わせてから生田キャンパスの学生食堂で昼食。

往路を戻り、新宿で京王線に乗り換えて14時に和泉キャンパス着。明大前駅の周辺も変わり、高層ビルが増えて路地はなくなりました。和泉キャンパスも近代建築が林立して昔とは様変わり。正門の左側の昔の事務棟はメディア棟に変わり、右側には高層の和泉図書館。和泉図書館の随所には、ゆとりのある空間が設定されていました。書架の側に多数の机と椅子が配置されていました。書架から取り出した書籍を直ぐに閲覧できるスペースは、思索を深める手段として好評のようでした。メディア棟から第二校舎に入ると、大教室(昔の構造のままと思われる)が残っていました。参加者の多くは高い位置から黒板を見下ろして学生時代を思い出しているようでした。

和泉キャンパスを辞してから16時に御茶ノ水着。各キャンパスの滞在時間は生田キャンパス2時間、和泉キャンパス1時間。16時15分から前回と同様にリバティール・タワー23階の矢代操ホールで懇親会。18時15分散会。今回も明治大学職員のお世話になりました。次回の計画は、秋の東京六大学硬式野球の観戦を予定しています。(可能ならば谷中墓地の岸本辰雄氏の墓参を含む。同氏の墓は徳川慶喜の墓の側)。



明治大学 キャンパス・ツアー にて

### 編集雑記

“まつかぜ”も発行が始まり、今回で第12号となりました。寄稿していただいた皆様に御礼申し上げます。創刊の途中より編集等に係わっておりますが、今では多くの原稿は、寄稿していただいている方々がワード等にて作成された原稿をメールにて受領し編集を行っております。

平成28年度より、支部の広報委員会のメンバーも増えましたので、今後は支部の会員皆様に少しでも満足していただける紙面にして行ければと思います。

市川地域支部のホームページも充実しており、重複した掲載記事となったことをご了承ください。(C. A)

